

市議会かわらばん

(連絡先)
米子市政研究会
米子市内町53
TEL(0859)33-6475
FAX(0859)23-0268

ご意見をお寄せ下さい

(ホームページ) <http://www2.sanmedia.or.jp/nakagawa/> (メールアドレス) nakagawa@sanmedia.or.jp



6月議会報告

3期目の野坂市政が始まったが……

4月19日の市長選挙後初めての定例市議会が、6月19日から7月13日まで開催されました。「どういう米子をつくろうとしているのかかわからない」、「予算を切り詰めるばかりで、米子市は元気がなくなる一方」などの野坂市長に対する批判が、3選されたとはいえず、全有権者数の21・6%（全投票者の36・8%）に過ぎない得票数に表れました。市長選の厳しい結果を受け、2期6年間の市政運営をどのように総括して3期目に臨もうとしているのか、多くの議員が質問しましたが、これまでどおり官僚的な答弁を繰り返すばかりで、全く反省の色が見られませんでした。

野坂	康夫	25、455
八幡	美博	22、274
上場	重俊	20、666

「未来」代表質問は、市長のマニフェストを検証

このたびの市長選の特徴は、3人の候補者がそれぞれ詳しいマニフェスト（政権公約）を発表したことです。市民に約束した公約をどのように実行するのか、議会としてもチェックする責任があります。私の参加する党派「未来」の代表質問では、野坂市長の24項目のマニフェストのうち、「協働のまちづくり」「CO2排出抑制と地球環境保全」「子育て支援」「経済の活性化と緊急雇用対策」「中心市街地活性化」「中海水質保全」「教育施設」「伯耆の国よなご文化創造計画」などを中心に取り上げました。残念ながら、すべての項目について、積極的に政策を推進するという強い意欲は感じられませんでした。これからも、マニフェストのチェックを続けます。

総額66億円もの大型補正、その財源

今議会に、総額66億5千万円もの補正予算が提案されました。どこにこんなお金があったのでしょうか。内訳を見ると、国の緊急経済対策として入ってくるであろうと見込んだお金（33億円）と、合併特例債などの借金（24億円）がほとんどです。もし、見込みどおりのお金が国から入らなかった場合、新たな借金をするしかありません。

市道安倍三柳線の工事再開や中海架橋建設促進など、選挙を前に急に大型公共事業推進路線に変わった野坂市長ですが、厳しい財政状況は変わっておらず、予算の使い道について市民参加による議論が必要です。

米子駅降りエスカレーター設置を求める陳情、不採択に

バリアフリー法では、JRにはエスカレーターを設置する法的義務はありません。

ん。しかも、米子駅の1日当たり乗降者数は1万人以下なので国の補助金はなく、エスカレーター設置費は全額米子市負担です。財政が厳しい中、10億円を投じてまで今すぐにエスカレーターを設置する必要があるのか、25人乗りの大型エレベーターにすれば1億円あまりで済む、と昨年12月議会でも提案しました。しかし、野坂市長は、市長選挙を意識してか、米子市が全額負担してエスカレーター（3基）をつけるの大見得を切ったのです。ところが、よくよく見ると、エスカレーターは昇りだけで、降りはありませんでした。こっそりとお金をケチっていたのです。そのことを知った米子市老人クラブ連合会から、米子駅に降りエスカレーターも設置して欲しいという陳情が提出されました。高齢者の方は降り階段のほうが目が痛いと言われます。設置するのであれば、降りもつけるのが当然です。採決の結果、「新風」「公明党」「維新」が反対し、13対15で陳情は不採択になりました。

森山堤防60m 開削では効果は ない 更なる堤防開 削を求める

5月30日、森山堤防60m開削工事が完了し、28年ぶりに境水道から本庄水域（大根島北側）に海水が流入しました。それから2ヶ月経ちますが、本庄水域および中海の環境は良くなったのでしょうか。

島根大学の瀬戸先生によると、「開削部から100mまでは大幅に改善したが、総延長5・7kmの堤防のうち60mだけを開削したのでは、本庄水域の4分の1程度に酸

素が入っただけ。夏は酸素が消費されてどうなるか。圧倒的に開削が足りない。もっと開削が必要」とのことです。

また、開削部から約600mの位置でサルボウの飼育実験をしている島根大学汽水域センターの先生も、「60m開削では海水が十分に入らないので、夏は無酸素になるのではないかと。さらなる開削が必要」と言われています。

中海の環境修復のためには、森山・大海崎堤防を少なくとも200m開削して反時



28年ぶりに潮の出入りが始まった森山堤防開削部（宍道湖中海汽水湖研究所HPより）

計回りの海水の流れを取り戻すことが必要です。

米子市として、森山堤防60m開削の影響についてのデータを集め、水質改善が進まなければさらなる開削を求めることについて、見解を問いました。

副市長から、「（研究者の調査など）改めて勉強させていただき、（必要であれば更なる開削を求めるなど）対処したい」という答弁がありました。

史跡米子城跡 は保存・活用を

米子市は、昨年8月に「米子城跡整備計画基本構想案」を発表しました。その内容は、①湊山球場（米子城三の丸跡）などに存在する民有地を買い取り、国の史跡指定区域を拡大し、石垣の整備・補修などを行う。②園路・石段等の導線の整備、休憩所・トイレの設置等を行う。③歴史教室の開設、史跡ボランティアガイドの養成などを行う。というものです。

民有地の買い取りには国から80%、県から6.6%の補助金が、また整備事業には、国・県の補助金が3分の2あり、実質的な財政負担は大幅に軽減できる上、市が毎年負担している1千3百万円の借地料の解消にもつながる効果があるということです。

とてもよい話だと思っていたのですが、野坂市長は、今年3月議会で突然に、「米子城跡整備計画を見直して再検討する」と発言しました。唐突で、真意がわかりません。

確かに、市民の中には、湊山球場に図書館・美術館などを移転しろという意見や、鳥取大学医学部に用地提供しろという意見などが



米子城の美しい石垣

あります。しかし、米子城跡は、中心市街地に残るかけがえのない歴史的文化的資産であり、一度壊してしまえば二度と復元できません。また、二の丸と三の丸を区分する高石垣は、城山の自然と一体となつて素晴らしい景観を形成しています。湊山球場跡に建築物ができたなら、このすばらしい景観が見えなくなってしまう。貴重な歴史資産である米子城跡の保存、活用を求めました。

「米子城跡国史跡 の史跡追加指定 の中止を求める」 陳情は、不採択に

昨年11月に、『市民有志の会』から、「湊山球場を史跡指定に編入することは土地利用を制約し、将来に禍根を残すことになるので中止を求める」という陳情が提出され、12月、3月議会で継続審査になっていました。今議会で採決した結果、賛成は「新風」と「維新」だけで、11対17で不採択となりました。

高校新卒者、若者の就労支援の強化を

ハローワーク米子で若者の雇用状況を調査しました。今年4月のデータによると、10代、20代の常用・常用的パートの求職者数は、約1千7百人いましたが、そのうち就職した割合はわずか10・6%のことです。

また、6月20日から高校新卒者の求人票受付が始まるので企業訪問をしているが、感触としては今年の求人は昨年の半分ぐらいではないか、とのことでした。高校の先生にもお話を伺いました。米子でも、今年の卒業生で内定取り消し、あるいは就職後1ヶ月で会社が経営不振になり解雇された例などがあるとのこと。進路担当者が企業訪問しているが、やはり、来春卒業生は今年よりも何倍も厳しいようです。米子市の活性化、持続可能な米子をつくるためには、若者の定着が絶対必要

条件です。新卒者、若者の就労支援について、米子市の取り組みを質問しました。

「雇用促進補助金で今年度は58人の新規採用を予定している。米子市も関わっている人材研修にも多くの若者が参加している」との一般的な答弁でした。

米子市が若者の就労支援を一生懸命に努力しているという姿が見えないと、若者は米子市に愛着など持てないでしょう。まず、新卒者・若者が置かれている状況を詳しく調査し、当事者の声を聞き、実態把握から始めることを求めました。

中海架橋建設促進に異議あり!

昨年、野坂市長が中海架橋建設に積極姿勢を示しています。市道安倍三柳線(安倍のユニサン前の通り)と安来市の間を架ける計画ですが、総事業費は350億円とも試算されています。米子空港の利用率が上



安来市に設置されている中海大橋の看板

がり、中海沿岸の一体感が増す」というのが建設促進の理由のようですが、山陰道も完成し、安来から米子空港への所要時間も以前に比べたら格段に短縮されています。中海のことを言うのであれば、40億円もあれば、干拓堤防を開削し、魚介類を回復させて水産業を振興することが出来ます。そちらの方が、中海沿岸にとってよほど大切ではないでしょうか。

毎年5月ごろに、市長・議長連名で国・県に対して要望を提出していますが、今年の要望事項に中海架橋建設促進が入っていません。そこで、議会として要望事項に入れることに反対

しましたが、各会派の会長、幹事長会議の場で押し切られてしまいました。中海架橋は、時代遅れの壮大な無駄づかいであるだけでなく、中海の美しい夕日景観を台無しにします。また、水鳥公園へのコハクチョウの飛来にも影響を与えるおそれがあります。

米子市景観条例の制定に対して付帯決議を提案

鳥取県景観形成条例では、景観形成や生活環境の保全に支障のある建築物等の除去を周辺住民が申し立てた場合、市町村や景観審議会の意見を聞いた上で、所有者等に対して、除去を勧告・命令し、従わなかった場合は行政代執行により強制的に除去する条項があります。しかし、景観行政団

体(注)である本市は適用が除外されています。従って、同じ県民でありながら、米子市民は申し立てをすることができません。

米子市でも危険家屋等が増加しており、児童の通学の安全がおびやかされ、害虫の発生や火災の恐れなど、住民生活に不安を与えています。しかし、今議会に上程された米子市景観条例には、危険家屋等撤去についての有効な対策は規定してありませんでした。

そこで、「強制力を持つ制度を早急に検討すること強く求める」という内容の付帯決議を提案しましたが、「新風」と「公明党」が反対して14対14の同数になり、議長が否決したために通りませんでした。

(注) 景観行政団体は景観法に基づいた事務処理を行う自治体(政令市、中核市、都道府県)。ただし、都道府県知事と協議して同意を得た場合は、市町村が景観行政団体となる。



景観形成地区にある廃屋(灘町1丁目)



3月議会報告

市長選挙での自治会推薦をただす

(Q) 4月に予定されている市長選挙において、米子市自治連合会が現職市長を推薦したとの情報がある。推薦することについて、選挙管理委員会委員長の見解を尋ねる。市長は、推薦を受けたのは事実なのか。

(選挙管理委員長) 自治会などが特定の候補者を推薦することは、個々人の政治活動に支障を来したり、投票干渉などで投票の自由が侵害されるおそれがあり、好ましいことではないと考えている。

(市長) 4月の市長選挙での関連で、私が自治連合会に推薦を求めたことはないし、受けてもいない。

(Q) 河崎校区では自治連合会が推薦し、市長のマニフェストを米子市のごみカレンダーと一緒に自治会を通して全戸配布している。

(市長) 全く知らない。

(Q) 少なくとも、自治会推薦や自治会の組織を通じて個人的なマニフェストを配布することをやめるように、市長の意思を伝えるべきではないか。

(市長) 事実関係を調査の上、どういった対応が可能か研究してみたい。

(※) 結局、一部地域では、自治会ぐるみの旧態依然の選挙が行われました。市長が調査して対応したとの報告も全くありません。

松くい虫防除農薬空中散布中止を求める

(Q) 昨年5月、出雲市で松くい虫防除農薬空中散布直後に、児童生徒を中心に1千人以上の市民に目の痛み、かゆみなどの健康被害が発生した。出雲市では原因調査委員会を設置し、農薬空中散布が原因である可能性が否定できないという

内容の報告書をまとめた。市はその報告を受け、今後は空中散布をやめて伐倒駆除などで対応することを決めた。松江市も空中散布中止を決めた。米子市も、空中散布を中止すべきである。

(市長) 出雲市は人家に近い松林で空散をしていたようだが、本市の場合、淀江地区の松林は急しゅんな山間地にあり空中散布防除によらなければ保全が困難である。現時点では空中散布を継続する考えである。

(Q) 先日出雲市に行つて調査した。出雲大社の東側に淀江と同じような急しゅんな山があり、地元からは空散をやつて欲しいという要望が出ていたが、市長自身が協議会の場に出て、やめさせてくれと頼んだとのこと。出雲市は米子市と全く条件が違うということではない。最後は、出雲のよう

うに、市長が判断するかどうにかにかかっている。

(経済部長) 21年度の早い時期に米子市松くい虫被害対策地区推進連絡協議会を開催し、出雲市の報告書を諮り、そこで仮にやめるべきだというような意見があれば、それは重く受けとめ

なければならぬと考えている。

大橋川拡幅問題について

(Q) 平成13年の両県知事確認書で、中海護岸整備、環境調査、本庄工区の堤防開削(森山と大海崎の両堤防)を条件に調査に同意したが、平成18年に森山堤防のみ一部開削となった。「中海水質改善対策協議会」の場で、森山堤防一部開削だけで水質、治水に効果があるのかモニタリングして見極め、必要であれば大海崎堤防開削も両県で協議するという流れできている。その流れからいえば、森山堤防一部開削だけで潮位、治水がどう変わるかというところがある程度見極めがつかないと、米子市は大橋川改修事業について判断できないと思うがどうか。

「市議会かわらばん」は、中川健作(無所属市民派)の議会報告です。年4回、定例市議会(3、6、9、12月終了後に発行しています。毎号御希望の方には無料で郵送してまいりますので、ご連絡下さい。また、内容についてのご意見、市政への提言等お寄せ下さい。出前市政報告会も行っています。少人数でもお申し込み下さい。



(市長) 治水・水質改善の問題は非常に重要な問題であり、協議会等の場でモニタリング内容について注意深く見て、3つの条件に合致しているかどうかをもとに判断したい。

(収 入)	
前月からの繰入	217,439
報酬	2,640,000
(44万円×6ヶ月)	
一時金	893,200
カンパ	7,000
合 計	3,757,639
(支 出)	
議員共済掛金	489,375
所得税	181,767
国保料	256,000
通信費	147,715
資料代	16,200
活動費	393,322
中川生活費	2,000,000
(25万円×6ヶ月+一時金2ヶ月)	
住民税(1,2期)	165,800
次月繰越金	107,460
合 計	3,757,639

※「市議会かわらばん」は環境を考え、古紙再生紙、大豆油インキを使用しています。